

2003年5月1日発行
 発行人：堺 充廣
 発行所：神戸市中央区海岸通8
 神港ビルヂング5階509
 TEL/FAX：078-393-0050
 (TEL・FAXが同じです。)
 E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
 URL：<http://www.kobekeio.org/>
 編集：堀 友子・八巻 晤郎

～ 4月例会レポート ～

4月22日(火)和田ホールにて開催されました。

講師は兵庫県盲導犬協会理事：島田 剛氏と盲導犬モネちゃんです。

先ず協会事務局の吉川弓子さんから現況の説明がありました。

全国で135千人の視覚障害の方がおられるにもかかわらず今は900頭しか活動していないということ、中でも県下では50頭、神戸市内ではわずか17頭の活動だそうです。

ここで、メインゲストの島田氏に代わり、本題に入ります。パートナーとしてのモネちゃんとの生活や、世間に対する要望などのお話を実に感動的に聞かせていただきました。

島田氏自身は、ハンデを見事に克服され、剣道・空手・少林寺拳法の世界でも数少ない資格をお持ちで、かつてはパラリンピックで活躍されたそうです。



神戸の地震

に遭遇した時、市内の地図が一変してしまい、白杖ではとても外には出られないことを身を持って痛感し、協会に駆け込んでモネと出会い、それ以来のパートナーだそうです。

盲導犬の素晴らしさの**スリーS (Speed・Safety・Smart)**、モネと一緒にならなんでもできる。

近くの懇親会の席への移動も、階段は正眼の

方と同じようにスイスイと下りられたり、モネとの会話などをお聞きしても、一心同体での強い絆で結ばれているのが、まさに胸打たれる思いで感じられました。

ここで、欠席された方のために、お話の一部をお教えしましょう。

「何かお手伝いしましょうか？」というお声かけ、とても嬉しいそうです。

そして犬には、声をかけない、触らない、食べ物やらないでほしいということ。

「クロック・ポジション」例えば、お皿の中には、6時にお肉、9時にご飯、3時にお汁、12時にサラダ、ビールは9時の外にという風に言ってもらえると、よく分かるということ。この日もビールをずい分召し上がっていました。盲導犬を使う方は免許が必要だそうです、これでは飲酒運転で罰金だなあ！というジョークも出るほどに楽しい時間を共有していただきました。

この日、モネちゃんは紺色の素敵なコートを着ていました。これも決してオシャレではなくて、訳があるということ。毛を床に落とさない、夜間になると蛍光テープで安全が確保できるということ、こんなことも勉強しました。

吉川さんとは、駅の改札口で別れあとは地下鉄で押部谷まで、二人でいつも通りに帰られて行きました。

協会の活動は、<http://www.moudouken.org/>で詳しく紹介されています。また、パンフレットを倶楽部ルームに置いてありますので、ご覧ください。

これを機会に神戸慶應倶楽部でも、会員の皆様のご支援とご協力を募りたいと思います。

(記事：堀 友子)

大先輩、故濱根康夫元会長

上島 康男（昭三十三法）

会長を退任してこの5月で早や一年となる。1970年神戸に戻り会社を設立したが、その時誰よりもお世話になったのが中学（神戸二中）、大学の先輩だった故濱根康夫元神戸慶應倶楽部会長だった。

我々会員は濱根大先輩の前では全く頭が上がらず、しかも大変辛口の方で、プライベートの席では常に「頭の悪いお前等は……」から始まるのだが、何を云われてもただ黙って承るだけだった。しかしオフィシャルの場では銀行の幹旋でも普通ではとてもお目にかかれないクラスの方々（例えば頭取）をご紹介下さり、「この男は真面目で、努力家だ。俺の後輩だし名前も同じ（康夫と康男）だから間違いなく優秀な奴だ。どうかこの男を支援してやってくれ。」と親身になってお世話下さった。今厳しい状況下であるが盤石な銀行体制が現在とれているのも30年前に濱根様が根回しして下さったご遺徳と感謝している。



故濱根康夫元会長

濱根様が体調を崩され退任された時、副会長だった私も進退を共にしようと思いに決めていたが許されず、後日突然森様から会長のご指名を受けたが、これも天国からの濱根様のご下命と思ってお受けした。そして会長に就任した時濱根様の足元にも及ばないが、先輩として後輩の諸君に何か自分が受けた恩返しをしたいと、ただそれだけを心にして務めさせていただいた。

先ず、倶楽部を先輩・後輩のへだてのない団欒の場にすることを志した。

退任の際に戴いた感謝状の一部を披露させていたと、「……例会においては、無類の酒飲み達を相手に一千万ドルの微笑で、酒も飲まずに相手をした離れ業は特筆すべきものであります。……」だった。嬉しい限りで、正に我が意を得たりだ。又先輩として後輩諸君からの仕事の相談事や依頼された事には微力だったが私なりに誠意をもって応えたつもりだ。在任5年の短い間だったが濱根様への恩返しもし少しは出来たのではと思っている。

これからも引き続き倶楽部が先輩後輩の交流の場となることを祈って止まない。

~~ 慶早ゴルフ対抗戦 ~~

2003年4月9日（水）加古川ゴルフ倶楽部にて開催されました。

神戸早稲田倶楽部より木下会長をはじめ6名の参加を頂き、当倶楽部からは8名が参加し、絶好のコンディションのなか、プレーと懇親会で大いに盛り上がりました。

対抗競技は各倶楽部の上位5名によるネット合計で競われ、結果は410：408の僅差ながら、2ストローク差で神戸慶應倶楽部が勝利致しました。

今回は慶應が雪辱を果たしました。

個人戦では神戸慶應倶楽部の廣川守さん優勝され、2位は神戸早稲田倶楽部の木下会長、3位は神戸慶應倶楽部の佐井裕正さんが入賞されました。



代表でカップを受け取る八巻会員
（右は早稲田の木下会長）
（記事：森本泰暢）

会員だより

『ヤホンアートギャラリージャパン』

西郷-Webber 清美 (平7文・通信)

私は昨年3月に退職した。いままで一度も手を抜いて仕事をしなかったので、全く後悔はない。善悪の判断が正常にできるうちに、一刻も早く職場を去りたかった。

47歳の再出発であった。化粧をするのもやめた。鏡に映し出された素顔の47歳の自分を再確認し、もうさんざん嫌な体験をしたのだから、残されたこれからの人生を楽しみながら働こうと決心した。

この20年間、短期大学の教員しかしたことはない私が、インターネットで画廊を立ち上げた。マレーシアのパナン島にあるヤホンアートギャラリーのお手伝いである。バティック(ろうけつ染め)絵画の第一人者で人間国宝の巨匠・テン(89歳)の絵画に魅せられてのことである。毎年ギャラリーに通い続けて、14年が経過した。テンに信用された初めての日本人としての誇りを持ち、すべて持ち出しの再出発であった。



机上のビジネス論しか知らない私には、実際のビジネスは非常に難しい。ただ大好きなバティックアートの世界をご紹介できるだけで、私は大変光栄である。どんな嫌なことがあっても、バティックアートは私の心を癒してくれた。すべて手作業による絵画は、いつも私の心を和ませてくれた。この夏からは芸術性を保ったコピーの絵画を低価格で発売予定である。どうぞ私がいままで大切にしてきた宝物をご覧くださいませ。

<http://www2.odn.ne.jp/yahong-japan>

<Dr.高田の書籍紹介>

高田育明(昭51医)

「ハードボイルドに生きるのだ」向井万起夫：著
(講談社：平成15年3月25日発刊)

今回は、私の親しい先輩・恩師である“宇宙飛行士向井千秋の亭主”向井万起夫先生の男のやせ我慢とこだわりの知的な日々を描いたエッセイ集です。

宇宙飛行士のデータ分析、古くからの大リーグ一通としての著者の独特のデータ分析がおもしろい。イチローの2001年首位打者獲得をデータ分析により予言していたことは興味深い。

著者紹介：向井万起夫 1947年東京出身、慶應義塾大学医学部助教授、医学博士、興味深い著書として「君について行こう」、「続・君について行こう 女房が宇宙を飛んだ」(講談社文庫)、向井千秋との共著「4001の願い」(文藝春秋)

ご一読いただければと紹介させていただきます。



『みどりの日コンサート』

藤井文明(昭39工)

4月29日に、恒例になった「みどりの日コンサート」が大阪福島島のザ・シンフォニーホールにて開催され、藤岡幸夫(当倶楽部会員・昭60文)の指揮、関西フィルハーモニーのオーケストラで、シヨスタコーピッチのシンフォニー第5番「革命」など3曲を演奏した。青戸統子様はカルロス・クライバーのようなと表現された力強く流麗でもある指揮振りには、彼が世界の一流に仲間入りした証と言えよう。コンサート終了後JR福島駅すぐ前のホテル阪神地下1階にあるイタリア料理店「トリトン」にて「藤岡幸夫を囲む会」が開催され、彼の後援会会員を中心に友人・知人が集まって食事を共にし、一緒に写真を撮ったりサインをして貰ったりと休日の夕刻を楽しく過ごした。

(後援会事務局長)



高嶋哲夫(昭48工)

『ミッドナイトイーグル』を出版しました。文藝春秋から出た単行本の文庫化です。僕の代表作だと思っているのですが・・・。よろしくお祈りします。

予告

秋の慶早ゴルフ対抗戦：8月8日（金）
六甲山上・神戸ゴルフ倶楽部
プレー後は、恒例の“マツタケすき焼き”パーティによる懇親会が待っています。

同好会だより

乗馬同好会 活動再開します！！

活動が中断されていた乗馬同好会は、3月例会で入会された三瀬祥夫さん（昭40商）が世話役を引き受けてくれることになり、三木会員のアシストで活動再開が決まりました。

三瀬さんは三木会員と同じく体育会馬術部出身、銀行マン勤めを終え現在は子息の造園会社の経営をみておられます。三木会員はスキューバダイビングの仕事が忙しく乗馬の世話役までは手が回りかねていたのが三瀬先輩の入会で主宰する明石乗馬倶楽部を安心して提供できることになった訳です。5、6月頃からの活動予定ですので入会希望者は事務局まで申し込み下さい。

PC同好会“PCよもやま話”

Eメールの功罪

近藤 正（昭39商）

パソコンを購入してかなりの年数になるが、その技術は残念ながら、いっこうに上達していない。パソコン同好会にも入会して、毎月それなりにいろいろ教えてもらっているのだが、どうも小生には高等過ぎる話題も多く、右から左へと抜けてしまい、せっかく教わってもモノにならないのが現状だ。

そんな中で、Eメールの利用だけは頻繁に行っており、そのやりとりが日常生活の楽しみの一部となっている。朝晩定期的にメールを開けるのが習慣となり、新着メールを読み、適当に返事を書くことは、「毎日が日曜日」の生活には、大いに刺激になっている。

学生時代の仲間（JSKS ラグビークラブ）のメーリングリストは、お互いの情報交換には最適だ。卒業後40年近くなるのに、常に近況がわかるのはメール交換のおかげだ。大病に侵された仲間をみんなで励まし、今では奇跡的に回復したのは、最近の朗報である。また、年2回の懇親ゴルフコンペの案内は郵送の手間がはぶけ、幹事は大助かりである。

一方、そんな重宝なメールもゴタゴタを起こすことがある。一人の仲間がある問題で意見を出したが、そのニュアンスが正しく伝わらず誤解を生み、ある男と喧嘩になってしまったことがあった。直接会って話せばわかることが、文字のみのやりとりで失敗したケースである。

また、コンピューターウイルスにガードの甘い仲間が、ウイルスを撒き散らして大騒動したことがある。それからは、各自がしっかりワクチンプログラムを持つようになった。

そんなことで、今後もメル友を増やし、楽しいメール交換をしていきたいと思っている。

例会日：第3金曜日 倶楽部ルーム
世話人：市川義人

高島知司会員より

村田修一（昭 39 商）

『里山を楽しむ』

関西移住を機に始めた農業への取組みが、今春で5年目を迎える。日生中央から5km程、標高200mの里山に山林と田畑を所有する農家に月5~6回手伝いに通っている。

最初の訪問で驚いたことは田畝の廻りが黒く焼けていたことと化学脂料の多用である。そこで私が提案したのは農薬と化学肥料をなるべく使わない有機栽培を目指そうということである。

自然は人間にとってそうそう都合よくできていない。何と雑草の生命力の強いこと。ちなみに雑草より強い野菜はトウモロコシ、カボチャ、ウドだそう。どんな農業入門書にも書かれている通り農作業の7割は雑草との戦いであることを痛感。この作業こそが日本人の忍耐力と勤勉さを育ててきたのだと実感する。除草は私が得意とするものの一つである。蛇が大嫌いなので草刈機のヘッドを動かす速度が早いので作業能率が大変良い。

季節に応じての米、野菜作り、椎茸栽培のかたわら何といっても最高の楽しみは労働の後少々のお酒で収穫物を賞味することである。野菜も魚同様1時間毎に鮮度が落ちるそうだが獲りたての物は格別の甘味がある。1年の行事として春は山でのお花見と山菜のテンプラ、初夏には竹林での蛸観賞、秋は栗拾いを兼ねた芋煮会、暮れの餅つき等イベントにはこと欠かない。

体力の続く限り農作業を続け里山の四季を楽しみたい。

次は、絵画同好会で一緒に玉田和子さん（昭46文）さんに書いていただく。

今月の絵



（絵画同好会：廣川まもり）

青戸統子会員より

田崎和代（昭 61 文）

『宇宙への道』

青戸先輩、この度はご指名頂き、ありがとうございます。

先日、GARY ZUKAV 著「THE SEAT OF THE SOUL」という本の中で、「すべての道が、故郷（宇宙）へ通じている」というところに感銘を受けました。

「私たちは、地球学校で学習し、進化し、宇宙へ還って行く」という考えは、宇宙に対して懐かしい思いを起させます。

小さい頃から、空を見上げるのが好きで、宇宙のことをあれこれ想像しては、途中で、わからなくなつて、それ以上考えるのをやめていましたが、その時の答えの一つを与えられたような気がして、嬉しく思っています。

今も、わからないことばかりですが、時間や空間を越えることに思いを馳せることは心躍ることです。

福澤諭吉先生の「生涯」「学習」のお教への通り、卒業後もずっと、素敵な諸先輩方皆様と共に、学ぶことができるというのは本当に、ありがたいことと存じます。

次号は、神戸慶應倶楽部に私を紹介してくださいました 間森 坦先輩（昭38医）に、感謝を込めてバトンをお渡ししたいと存じます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

このコーナーは、リレー式に輪をつないでいくものです。前走者から指名された方は、快くお引き受けください。そして、輪を二重三重に広げていくようではありませんか。

～ 2003 年度総会のお知らせ ～

日時：5月16日(金) 18:30より

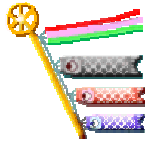
会場：神戸メリケンパークオリエンタルホテル

5階《天空の間》 Tel: 078-325-8111

(〒650-0042 神戸市中央区波止場町 5-6)

会費：8,000 円

総会資料として、「**2003 年度定期総会議案書**」を添付しています。ご検討のうえ当日ご持参ください。



～ 今後の行事予定 ～

6月24日(火) 6月度例会 倶楽部ルーム

7月19日(土) サマーパーティ

8月度例会は休会します。

2003 年度年間行事予定表を添付しています。

詳細につきましては、決まり次第 B R B ・メールマガジン等でお知らせしますので、毎月ご覧ください。

同好会例会日の詳細は、各世話人にお尋ねください。

囲碁同好会 第1金曜日 倶楽部ルーム
会費：1000 円(弁当代)

世話人：鈴木 滋

P C 同好会 第3金曜日 倶楽部ルーム
会費：2000 円(弁当代)

世話人：市川義人

絵画同好会 第2・第4木曜日 倶楽部ルーム
会費：月額 5000 円(食事代は別)

世話人：八巻晤郎

乗馬同好会 年2回 明石乗馬協会
参加費：3,000 円(昼食代別途)

世話人：三瀬祥夫

神戸慶應ジャズクラブ 外部会場 会費：実費

世話人：市川義人

ゴルフ同好会

世話人：近藤 正

テニス同好会

世話人：茂木立仁

編集部よりお願い

月刊 BRB をより充実したものにするために、皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。

堀 友子

八巻晤郎

編集後記
○今、日本では盲導犬の八割がラブラドル・リトリバーだそうです。生まれてきても適性があるし、定年制もあり、人間と変わらないですね。お仕事する犬に感動と尊敬を覚えませした。『モネ、グッド。』(ほ)
○咬まない、吠えない、飛びつかない。盲導犬が厳守する三項目だそう。だ。混み合った地下鉄車内で誤って前足を踏まれながらも黙ってしかし必死にユーザーの足下に座り続けようとする盲導犬をみたことがある。単なる目以上の情報を伝えているという話には大いに啓発された。(晤)